

# 行政視察報告書

1. 委員会または会派等 公明党議員団
2. 視察期間 平成23年8月25日 から 平成23年8月27日までの 3日間
3. 視察先 大阪府 門真市 滋賀県 草津市 奈良県 橿原市
4. 視察項目 財政健全化計画について 愛する地球のために約束する草津市条例について(環境問題) かしはら元気応援プロジェクトについて(健康増進事業)
5. 参加者 (委員(議員)) 大野哲也 平山伸二 三宅智加子 今村智津子 塩塚敏郎
(同行)なし
(随員)なし
6. 考察 別紙のとおり
以上のとおり、報告いたします。  平成 23年9月1日  報告者 <u>大野 哲也</u>  大牟田市議会議長 殿

## 6. 考察

### 大阪府 門真市

【人口】131,000人【面積】12.28km<sup>2</sup>【一般会計】493.8億円

### 視察事項 「財政健全化計画」について

大牟田市では、4カ年計画の「財政健全化計画」が作成され、取り組みが行われているが、本年度(23年度)で最終年度となり、総括と今後の方針を検討しなければならない時期となっている。そこで、今後の本市の財政問題を考える参考とするため、同じように計画を作成し取り組んでおられる門真市を視察した。

### 計画策定の背景

門真市の財政状況は、昨今の経済情勢や高齢化により、社会福祉や社会保障の経費が大幅に伸び続けるなど、財政運営の経常的な経費がかかり厳しい状況が続いており、国民健康保険事業の累積赤字も、解消に至らないという課題があった。

### 計画及び財政健全化のための特徴的な取り組みの概要

- ・ 20年3月 財政健全化計画案の第1次改訂版を策定し、行財政改革を推進(財政健全化法に基づく4指標との整合を図る。)
- ・ 23年7月 財政健全化計画・中期財政見通しを発表(経済・社会情勢の変化と今後のまちづくりを展望する)
- ・ 23年7月 国民健康保険事業特別会計収支改善計画の作成(財政構造悪化の最大の要因である国保会計の赤字解消のために、収納率の向上対策や歳出の抑制策などを盛り込んである)
- ・ 23年7月 事業仕分けの実施(市民判定員を置くなど、市民に見える形での事業仕分けを行うことで、より効率的な行政運営を推進する狙いがある。)

### 委員の感想

- ・ 門真市では、国民健康保険事業特別会計の赤字が最大の課題なので、特に力を入れておられたが、中でも徴収率の向上の為の対策は参考になった。(もしも案内センターの設置・コンビニ収納の開始など)
- ・ 職員数の削減が改善の大きな要因のひとつということで、大牟田市においても同じである為、どの都市においても人件費の削減がポイントになると改めて認識した。
- ・ ジェネリック医薬品の差額通知は、見やすく工夫しており、大牟田市でも参考にして取り組むと良いと感じた。
- ・ また、差額通知後の追跡調査も実施されているので、調剤費用の変化が数字でわかり、今後も取り組みの成果が期待できるのではないかと感じた。
- ・ 人口密度が全国的に見ても高い都市で、都市計画に工夫が必要だと言うことが、説明で理解できた。

## 滋賀県 草津市

【人口】123,254人【面積】67.92km<sup>2</sup>【一般会計】397.5億円

### 視察事項 環境問題

#### 「愛する地球のために約束する草津市条例」について

大牟田市は炭鉱閉山後も関連する企業や工場が数多く存在する工業都市の側面をもつが、炭鉱に変わる新産業として、エコタウンなどを整備し、リサイクル発電所(RDF)やメガソーラー施設など環境関連分野にも力を入れている。したがって環境問題や地球温暖化対策については関心も高く、参考とするため今回草津市の条例と取組みを視察した。

#### 条例の概要

この条例は、地球温暖化防止に関し、市役所、市民、事業者、団体等および訪れた人の役割を明らかにし、それぞれが地球温暖化防止に自主的に、また協働して取り組んでいただくことを目的に制定している。

#### それぞれの役割

【市民、事業者、団体等】は、1.地球温暖化防止のために自主的に取り組み、協定を締結する。2.締結された協定内容に協力する。団体等とは、学校、町内会、グループなど。【訪れた人】は、1.締結された協定内容に協力する。【市役所(市)】は、1.協定の締結および協定への協力の推進を図る。2.市の事務事業における地球温暖化防止のための必要な措置を講じる。3.締結された協定内容に協力する。

#### 主な取組み

- ・ この条例では、市民、事業者、団体等の方々と「愛する地球のために約束する協定」を市長が結び、みなさんと協力して地球温暖化防止を進める。
- ・ 協定の内容は温室効果ガスの排出削減・吸収・地球温暖化防止のための普及啓発等でそれぞれ目標を定めて取り組み、結果を報告していただく
- ・ 協定を結ぶと市は、市広報・ホームページ・各種イベントにおいて、その取り組みをPRする。また結果を報告すると優れた取り組みに対して表彰を行う。
- ・ 誰にもわかりやすくするために、本条例において条文には平易な表現を使用し、また小学校4年生を基準にルビを付すなど、誰にもわかりやすい条例としている。

#### 委員の感想

- ・ 視察用の資料はホッチキスを使わず綴じてあり、担当者の名刺はポスターの裏紙を使うなど徹底した資源の有効活用の姿勢に感心した。
- ・ 様々な補助金などを活用して運動を展開しているのは参考になった。(電動アシスト自転車の貸し出し・エコドライブシミュレータでの啓発)
- ・ 「熱中症の予防に関する条例」・地球冷やしたいプロジェクトなど先進的な取組みやユニークなネーミングの事業が多く発想の着眼点が参考になった。
- ・ 言葉のわかりやすさやインパクトを大切にしているのが印象的だった。

## 奈良県 橿原市

【人口】125,493人【面積】39.52km<sup>2</sup>【一般会計】409.8億円

### 視察事項 健康増進事業

#### 「かしはら元気応援プロジェクト」について

健康増進に対する取組みは、大牟田市でもしているが、なかなか周知徹底や市民の皆様への浸透が図れないという課題がある。そこで、健康ウェブページを作成したり、デューク更家さんと協働でウォーキングを推進するなど先進的な取組みをされている橿原市の取組みを視察し、参考にしていきたい。

#### 取組みの概要

橿原市では、「健康かしはら21」に基づき、市民の健康を支援する目的でサイトを立ち上げている。「健康」をウェブならではの手法を用い、様々な切り口から知って、学んで、参加して楽しんでもらうために、行動計画の中の取り組みである「食生活」、「運動・身体活動」などの分野を取り入れて楽しく紹介している。

#### 特徴的な取組み

- ・ ウォーキングマップを作成し、様々な追加情報を載せたり、動画でコースを見学できる為、歩こうという意欲が増す仕組みとなっている。
- ・ デューク更家さんと協働でウォーキングの教室を定期的に行っている。
- ・ 特定検診PRキャラクター「メタボライダー」は面白く、誰でも気軽に近づける親しみやすいキャラクターなので、関心を引く為には有効である。
- ・ 食生活のレシピなどもあり、今後も充実される予定。
- ・ スポーツ会社との協働でメタボ解消教室を開催している。

#### 委員の感想

- ・ 「こくほだより」は目立つ色で判りやすく、イラストや4コマ漫画を取り入れ、より内容を見ていただける工夫にあふれているので参考になった。
- ・ 担当している職員の皆さんが生き生きと楽しそうに取り組んでいるのが印象に残った。自分達もキャラクターのモデルとなるなど積極的に仕事に取り組んでいた。
- ・ 「デューク更家さんにも、勇気を持って声をかけ、粘り強く交渉した結果が協力していただける体制となった」という話を聞き、1人の人の情熱と行動力が大切だと改めて感じた。
- ・ 健康増進の為の運動や食事は、大切なので、対象となる人を絞り、ダイレクトメールを送ったり、きっかけとなるような取組みを意識しているのはすごいと感じた。